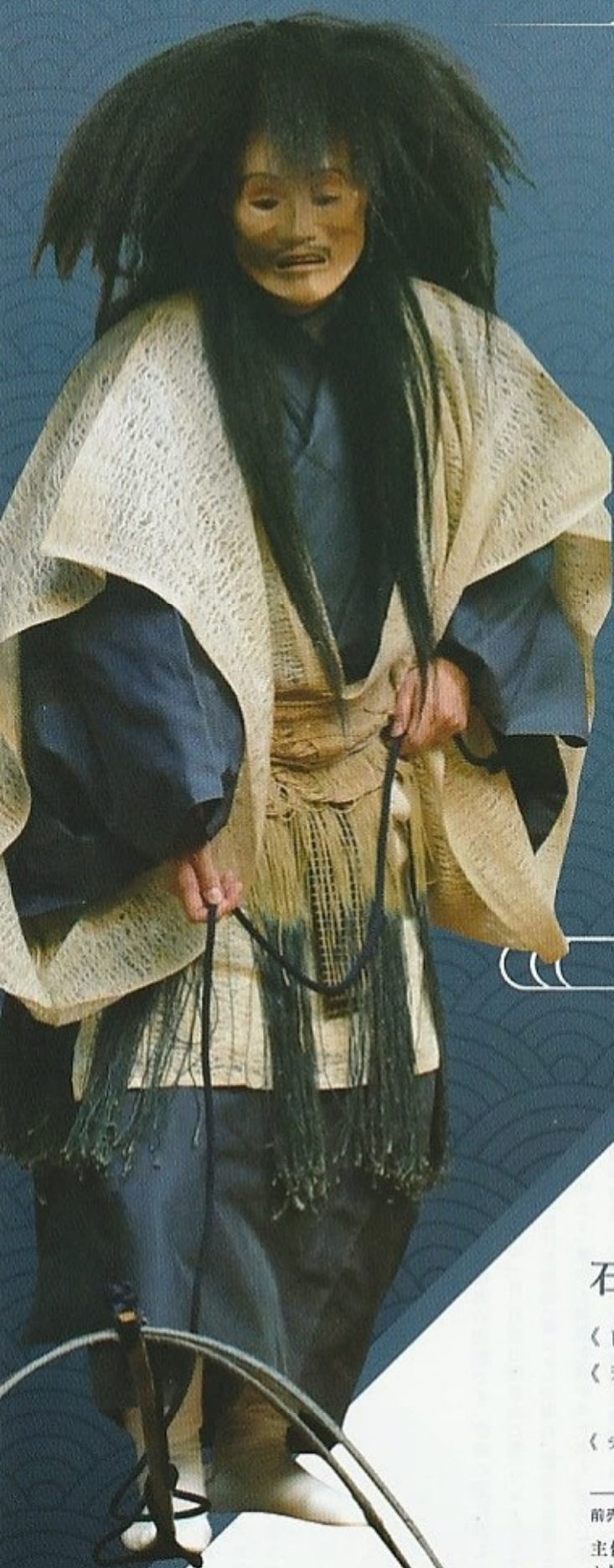




能 狂言
梟山伏
阿漕

能

ROUSOKU NOH

令和5年

5月3日(水・祝) 午後2時開演(午後1時開場)

石川県立能楽堂 金沢市石引4丁目18-3
TEL.076-264-2598

〈前売〉3,300円 〈当日〉3,800円

〈若者割〉30歳未満・当日のみ 1,100円 ※年齢を確認できるものをご用意ください

金沢能楽会事務所 ☎076-255-0075
〈チケット取扱〉石川県立音楽堂チケットボックス ☎076-232-8632
金沢能楽美術館 ☎076-220-2790

前売予約をすることができます。詳しくはホームページまたは能楽会事務所にお問い合わせください。

主催/公益社団法人 能楽協会

お問い合わせ/公益社団法人 能楽協会北陸支部 ☎076-255-0075

<http://www.kanazawanohgakukai.jp>

〈解説〉

金沢能楽美術館 学芸員 山内 麻衣子

ろうそく 火入れ

〈狂言〉

ふくろやまぶし

梶山伏

山伏 能村 晶人

兄 清水 宗治
弟 中尾 史生

後見 炭 哲男

〈能〉

あこぎ シテ

阿漕

藪 俊彦

ワキ 北島 公之

ワキツレ 渡貫 多聞

間 炭 哲男

大鼓 飯嶋六之佐 太鼓 麦谷 曉夫
小鼓 住駒 俊介 笛 江野 泉

後見 渡邊 荷之助
福岡 聡子

地謡

高野 秀幸 島村 明宏
山崎 健 広島 克栄
田屋 邦夫 高橋 右任
松本 博 渡邊 茂人

〈終了午後四時頃〉

〈狂言〉

梶山伏

ふくろやまぶし

梶の憑依がどんなに恐ろしいか、山伏の効験がどの程度のものかを、室町時代の庶民はこの狂言のように考えていました。筋はすこぶる単純、弟に憑いた梶がその息を通じて、見守る兄や祈禱する山伏まで冒すというものです。憑かれたしぐさと梶の鳴き声が傑作です。能(義上)の横川の小型を気取る山伏の尊大と胡散臭さも例のとおりです。頼みにした山伏までが感染しては、いったいだれが三人の邪気を除くのか心配になります。

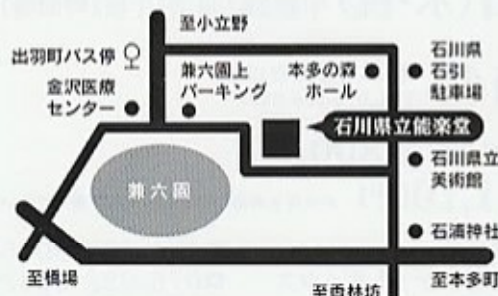
〈能〉

阿漕

あこぎ

禁断の海での密漁が露見して水底に沈められた漁夫の物語です。伊勢の国にあるその海を、漁夫の名をとって阿漕が浦といえます。初秋の一日、日向の国を出た僧(ワキ・ワキツレ)が神宮参詣の途中に通るかかと、釣り竿をかたげた漁翁(前シテ)が現れ、殺生を生業とする悲しみを述べます。僧も漁翁も共に和歌に明るく、歌学の知識を確かめたあと、求めに応じて漁翁が地名のいわれを語ります。この浦が禁漁となったのは、伊勢の神饌に供するためです。その掟を破った阿漕は刑死し、地獄でも殺生の罪を責められます。そう告白する漁翁は僧に回向を頼み、悲痛な叫びを残して漁り火のように消え失せます(中入)。脱経する僧の前に再び現れた阿漕(後シテ)は網を持ち、漁るわざの虜となつて罪を重ねる様子です。そのうちに波は猛火、獲物は悪魚毒蛇と変じて、息つく隙もない地獄の罠が展開します。救済はならず、波にのまれる亡者の声が丑三つの闇に響きます。

◆交通のご案内



※出羽町バス停より徒歩3分

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ご来場の皆様にマスクの着用等ご協力をお願いする場合がございます。詳しくは石川県立能楽堂ホームページにてご確認ください。